

協働に関する考え方

- ① 市民が主権である以上、市民と市とが対等の関係にはなりえない。協働という言葉積極的に打ち出すことで、市民は市に対して上位であるという基本的な両者の関係を曖昧にするべきではない。

- ② 複雑な行政課題も増えていく中で、より合理的かつ効率的に課題に対応していくためには、さまざまな主体が対等の関係に立ち、それぞれの特性をいかしながら課題解決に向け、互いに連携・協力していくことが大切である。

どちらの考え方をとるのか